

日鉄住金
総研

元アントラーズの中田氏が講演



日鉄住金総研は20日、新日鉄住金本社で講演会を開催した。講師には鹿島アントラーズの中田浩二（C・R・O（写真））が招かれた。中田氏は鹿

島アントラーズ入団後マルセイユ、バーゼルと海外クラブを経験、2008年に再びアントラーズに戻り、2015年に引退し今ではアントラーズ運営やサッカー人材育成などに携わっている。

中田氏はアントラーズの強さの秘訣について、ジークの教えである「勝利のために同じベクトルをもつ」ことが徹底されていると話し「アントラーズの選手は個々でやりたいことをやるのではなく、勝つために自分が何をすべきかを考える習慣が身についている」と語った。先日のレアルとの試合で善戦し日本中を沸かせたことにも触れ「選手はみな練習の段階から100%の力で挑んでいる。試合で力を発揮するには日頃の練習で全力を尽くさないとダメ。これは入団当初から先輩方に鍛えられたこと。他のチームとの差はここにあるのでは」と話した。また日本代表時代の裏話などについて触れ、大舞台で活躍した選手たちの素顔を紹介し参加者を楽しませた。中田氏はサッカーの経験談とリンクさせビジネスマンの組織論にも言及し、参加者は高い関心を持って聞き入っていた。